



【カルボプラチン+パクリタキセル療法について】



様

コースE

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
グラニセトン注	吐き気止めです	30分	☒							☒							☒							
デキサート注	過敏症を抑える薬です									☒														
ガスター注																								
ポラミン注																								
パクリタキセル注	抗がん剤です	1時間	☒							☒							☒							
カルボプラチン注	抗がん剤です	1時間	☒							☒							☒							
放射線治療	専用の治療室で行います	治療スケジュールに従い、基本的に月～金は放射線をあてます。土日はお休みです。																						

😊 **治療による副作用** : 注意が必要な時期

	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
過敏症																						
痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																						
食欲不振・吐き気																						
食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																						
筋肉痛・関節痛																						
肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。																						
口内炎																						
口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																						
手足のしびれ																						
手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																						
便秘																						
水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節した方が良いので、お知らせ下さい。																						
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																						
髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																						
白血球減少																						
感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																						
赤血球減少(貧血)																						
貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																						
血小板減少																						
出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																						
肝機能低下																						
体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																						



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。